

こどももおとなも楽しめる、セリフのないお芝居 様々な小道具が動きだし、見えないものが見えてくる!?

パントマイムをベースとした独自の演出で世代を超えて注目されるカンパニーデラシネラが紡ぐ、アンデルセンの名作『はだかの王様』の物語。セリフを用いずに身体表現のみで創作された本作は、作品中の様々な小道具が動き出すアナログな仕組みが仕込まれており、身近にあるただの棒を何かに見立てたり、実際にはないものを観客が想像したりすることで、見えないものが見えてくるそんな舞台です。子どもも大人も一緒になって楽しめる今まで見たことがない『はだかの王様』の世界にぜひお越しください。

秩父宮記念市民会館主催事業

カンパニーデラシネラ/

はだかの 王様

1873年デンマークの童話作家、
ハンス・クリスチャン・アンデルセン作。
目に映るもの、それは真実なのか。
人の弱さと滑稽さを描いた、
どこにでもある、
とある町での真実の目をめぐる物語。

「はだかの王様」 提供=高知県立美術館/撮影=釣井泰輔

《演出》小野寺修二 《出演》崎山莉奈、劉睿筑、善積元、藤田桃子、小野寺修二

美術 | 石黒猛、杉山至 照明 | 阿部康子 音響 | 池田野歩、高橋真衣 衣裳 | 堂本教子、藤田友 舞台監督 | 橋本加奈子 写真 | 鈴木穰蔵 チラシデザイン | チャーハン・ラモーン

ご存知『はだかの王様』の最後、ないものを「ある」という世間に対し、「ない」という人物が登場します。ここで考えるのは、舞台上にないものを観客含め皆で想像によって出現させ、目撃する演劇という表現について。ないものをあると言うことは嘘か。その人にとってあるなら、本当はあるのかもしれない。不条理に対する対応力は、もしかしたら今一番必要なことかもしれません。

「正解」の提示はなく観る人が好きに楽しめる無言劇です。皆さん一度体験してみませんか。

小野寺修二

終演後には、**マイム体験&ステージツアー開催!**

パントマイムの体験や、大道具・小道具を間近でご覧いただけます。

(40分程度を予定・予約不要)

2026年 9月 19日(土) 開演14:00(開場13:30)

[料金] (全席自由)

大人:2,000円 高校生以下:1,000円 ※3歳以上入場可。

[チケット発売日] 2026年 7月 5日(日) 10:00~

チケット
取扱
い

◎電話予約

チケット専用電話 0494-23-2294 (9:00~18:00 火曜日休館)

※発売初日(7/5)は10時より受付開始。

※予約後、翌日から2週間以内に市民会館ホール事務室にてチケットをお引き取りください。

◎チケットぴあ

<https://t.pia.jp> (Pコード:543-170)

◎窓口販売

市民会館ホール事務室 (9:00~18:00 火曜日休館)

※発売初日(7/5)の窓口販売の取り扱いはありません。

翌日(7/6)以降、残券がある場合のみ取り扱い。

[お問合せ] 秩父宮記念市民会館 TEL:0494-24-6000 (9:00~18:00 火曜日休館)

カンパニーデラシネラ

2008年、小野寺修二セルフユニットとして設立。身体性に富んだ演劇作品を創作し、マイムをベースとした独自の演出は、世代を越えた注目を集めている。国内での活動のほか、海外公演など多数。また、小中学校巡回公演や高校の芸術鑑賞会など、次世代へのアプローチにも積極的に取り組んでいる。

野外や美術館、アートフェスティバルなど、劇場内にとどまらない場所でのパフォーマンスも多い。

[会場] 秩父宮記念市民会館 大ホールフォレスト



〒368-8686 埼玉県秩父市熊木町8-1 5

<https://ccbhall.saitama.jp/>

〈西武鉄道〉

西武秩父駅から徒歩5分

〈秩父鉄道〉

御花畑駅から徒歩3分 秩父駅から徒歩15分

※駐車場には限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。

主催:秩父市 助成:芸術文化振興基金 協力:公益財団法人セゾン文化財団



芸術文化振興基金助成事業